

研究活動における保有個人情報の取扱いに関する研究会（第2回）議事概要

1. 日時：令和2年1月27日（月） 10：00～12：00
2. 場所：中央合同庁舎2号館9階第2研修室
3. 出席者：自然科学研究機構 小泉 周
東京大学大学院法学政治学研究科 宍戸 常寿
東北メディカル・メガバンク機構 長神 風二
三浦法律事務所 日置 巴美

総務省：吉開審議官、添田管理官、夏目副管理官

文科省：増子審議官、前澤室長

(オブザーバー)

内閣官房：平子参事官 内閣府：福本参事官補佐（代理）

厚労省：平補佐（代理） 経産省：北角補佐（代理）

4. 議事概要：

議題1として、事務局より個人情報保護制度の見直しに関するタスクフォース等の開催について説明。

議題2として、事務局より法人に対するヒアリング・アンケート調査に関して現状を中間報告として説明後、意見交換。主な意見は以下の通り。

- ・ 研究分野では個人情報に係る問題の実態がなかなかわからないことがあったため、このような形で整理いただいたものは今後の議論にとっても非常に有用な資料になる。今回は中間報告ということなので、引き続き取り纏めをしていただきたい。
- ・ 個人情報の利活用は人文社会分野においても重要であるということが理解できた。医学分野においても人文社会分野でも同様だと思うが、完全匿名化してしまうと研究で利用することが難しくなるので、仮名化が大切なのではないか。
- ・ 学術研究と研究開発を分けて考えているところが多いように思うが、純粋な学術研究においても研究開発と同じような問題が出てくるのではないか。

議題3として、各有識者委員から以下の観点を中心に現場における課題等の説明を行った。

<主な観点>

- 研究活動における保有個人情報の取扱いについて考えられる論点
- 研究活動における個人情報保護関連法の課題
- ライフサイエンス研究などの基礎研究／臨床研究の動向と個人情報の扱い
- バイオバンク・コホート調査における個人情報の扱いにおける課題

以 上